

Simposio Città d'acqua e sviluppo sostenibile Venezia e Tokyo



水の都市と 持続可能な 発展

水都をめぐる
日伊シンポジウム

ヴェネツィアと
東京

日伊同時通訳付

Il simposio si tiene in giapponese e italiano con traduzione simultanea

ステファノ・ソリアーニ

ヴェネツィア・カ・フォスカリ大学教授

陣内 秀信

法政大学特任教授, 江戸東京研究センター

高村 雅彦

法政大学教授, 江戸東京研究センター

土屋 信行

リバーフロント研究所技術参与

Stefano Soriani

Università Ca' Foscari Venezia

Jinnai Hidenobu

Università Hosei, Hosei University Research Center for Edo-Tokyo Studies

Takamura Masahiko

Università Hosei, Hosei University Research Center for Edo-Tokyo Studies

Tsuchiya Nobuyuki

Japan Riverfront Research Center

2018.6.28 (木)

イタリア文化会館 アニェッリホール

東京都千代田区九段南 2-1-30

18:30 (開場18:00)

入場無料 (要申込)

主催: イタリア文化会館、法政大学江戸東京研究センター

お問い合わせ イタリア文化会館

Tel. 03-3264-6011 (内線 24, 29, 13)

E-mail: eventi.iictokyo@esteri.it <http://www.iictokyo.esteri.it>



ETOS

江戸東京研究センター
Hosei University Research Center for
Edo-Tokyo Studies



水都をめぐる日伊シンポジウム 水の都市と 持続可能な発展

ヴェネツィア
と東京

Simposio Città d'acqua
e sviluppo sostenibile
Venezia e Tokyo

3年前に、ヴェネツィア・カ・フォスカリ大学において、ヴェネツィアと東京の水都比較の国際シンポジウムが開催され、その成果はすでに英文で刊行されています(R. Caroli & S. Soriani ed. *Fragile and Resilient Cities on Water: Perspectives from Venice and Tokyo*, Cambridge Scholars Publishing, 2017)。そのシンポジウムには陣内秀信氏、土屋信行氏が参加し、また、主催者側の中心人物であったステファノ・ソリアーニ氏は東京への関心を深めることになりました。この度、ソリアーニ氏が調査のために来日するのを機に本シンポジウムを開催することになりました。

歴史的に形成されたそれぞれの個性豊かな水都は、新たな時代に向け、社会的、経済的、文化的な観点から持続可能な発展をいかに実現していくのか、また、防災の観点も考慮しながら、魅力的な水の都市をいかに維持し、創り上げていけるのかなど、これらの大きな共通課題を専門家が討論します。(日伊同時通訳付)



ステファノ・ソリアーニ
ヴェネツィア・カ・フォスカリ大学
経済研究学科学科教授

Stefano Soriani
Università Ca' Foscari Venezia



陣内 秀信
法政大学特任教授、
江戸東京研究センター

Jinnai Hidenobu
Università Hosei
Hosei University Research Center
for Edo-Tokyo Studies

専門は地政学、ジオエコノミクス、経済・政治地理学、環境政策。ヴェネツィア・カ・フォスカリ大学大学院グローバルディベロップメント・起業学科学科長、および博士課程サイエンス・気候変動マネジメントコース教員。主な研究テーマに港湾、ウォーターフロント、特に気候変動に着目した地政学と環境問題の関係など。

東京大学大学院工学系研究科博士課程修了。イタリア政府給費留学生としてヴェネツィア建築大学に留学。専門はイタリア建築史・都市史。地中海学会会長、都市史学会会長を歴任。中央区郷土天文館館長、国交省都市景観大賞審査委員長他。著書に『東京の空間人類学』(筑摩書房、サントリー学芸賞)、『ヴェネツィア・水上の迷宮都市』(講談社)、『イタリア 小さなまちの底力』(講談社)、『イタリア都市の空間人類学』(弦書房)他。

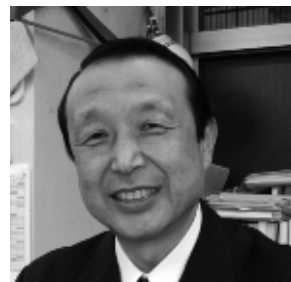


Photographs Hirashi Aoki

高村 雅彦
法政大学教授、
江戸東京研究センター

Takamura Masahiko
Università Hosei
Hosei University Research Center
for Edo-Tokyo Studies

1964年生まれ。専門はアジア都市史・建築史。法政大学大学院博士課程修了、博士(工学)。2008年より法政大学デザイン工学部建築学科教授、法政大学江戸東京研究センター水都プロジェクトリーダー。主な編著書に『水都学I~V』(法政大学出版局、2013年~2016年)、『タイの水辺都市-天使の都を中心に-』(法政大学出版局、2011年)、『中国江南の都市とくらし 水のまちの環境形成』(山川出版社、2000年)などがある。



土屋 信行
リバーフロント研究所技術参与

Tsuchiya Nobuyuki
Japan Riverfront Research Center

博士(工学)。技術士(建設部門・総合技術監理部門)、土地区画整理士、測量士。1975年東京都入都。第四特定街路建設事務所、第五建設事務所、下水道局建設部土木設計課主査、多摩都市整備本部区画整理担当主査、江戸川区区画整理推進課長、東京都第三区画整理事務所換地課長、建設局区画整理事務所移転工事課長、建設局道路建設部街路課長、江戸川区土木部長、危機管理監などを歴任し、2011年 公益財団法人えどがわ環境財団理事長。2012年 公益財団法人リバーフロント研究所理事。

第1部 講演 18:30-19:30

水の都市と持続可能な発展

—— 挑戦と可能性 ヴェネツィアのケース

ステファノ・ソリアーニ
(ヴェネツィア・カ・フォスカリ大学教授)

CONFERENZA

Città d'acqua e sviluppo sostenibile: sfide e opportunità, il caso di Venezia

Stefano Soriani (Università Ca' Foscari Venezia)

第2部 パネルディスカッション 19:30-20:30

ヴェネツィアと東京の水都比較

陣内 秀信 (法政大学特任教授、江戸東京研究センター)
高村 雅彦 (法政大学教授、江戸東京研究センター)
土屋 信行 (リバーフロント研究所技術参与)
ステファノ・ソリアーニ (ヴェネツィア・カ・フォスカリ大学教授)



TAVOLA ROTONDA

Un confronto fra due città d'acqua: Venezia e Tokyo

Stefano Soriani (Università Ca' Foscari Venezia)
Jinnai Hidenobu (Università Hosei, Hosei University Research Center for Edo-Tokyo Studies)
Takamura Masahiko (Università Hosei, Hosei University Research Center for Edo-Tokyo Studies)
Tsuchiya Nobuyuki (Japan Riverfront Research Center)

日伊同時通訳付

お申し込み 下記リンク又は右のQRコードよりお申し込みください。
<https://iictokyobooking.net/rsv/646/>

イタリア文化会館
ISTITUTO ITALIANO DI CULTURA

東京都千代田区九段南 2-1-30
2-1-30, Kudan Minami,
Chiyoda-ku, Tokyo 102-0074
<http://www.iictokyo.esteri.it>

※ 駐車場はありませんので、車での来場はご遠慮下さい。